



コミュニティだより



発行 登米市吉田公民館

TEL:0220-55-2124

(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会) FAX:0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会



新年のご挨拶

謹賀
新年



明けましておめでとうございます。吉田地区の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。昨年中は、公民館事業ならびにコミュニティ事業に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は午年にあたり、駆ける馬のごとく活力ある一年となるよう、地域課題の解決や公民館活動に一層励んでまいります。皆様と共に力強く歩みを進めてまいりたいと存じますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

吉田コミュニティ運営協議会
会長 菅原直行

年末年始休館日のお知らせ

吉田公民館・吉田体育館・善王寺コミュニティセンター

令和7年12月29日(月)～令和8年1月3日(土)まで

※12月28日(日)と1月4日(日)は、午後5時15分閉館となります。

1月5日(月)から通常通り開館いたします。

キッズサークル第4回楽習会(11月30日)

第4回楽習会では、室内グラウンドゴルフ大会を開催しました。参加したのは元気いっぱいの楽級生15名。2試合の合計点数で競い合い、真剣な表情と笑顔が交錯する熱戦となりました!(^^)!

初めてクラブを手にした子も、仲間と「ナイスショット!」と声を掛け合いながらコースを回り、ホールインワンが出た瞬間には「やったー!」と歓声が響き渡りました。体育館いっぱいに広がる笑い声と拍手が、子どもたちの挑戦する心を後押ししていました。

そして栄えある優勝は、大和田彩心さん。落ち着いたプレーで着実にスコアを重ね、見事1位に輝きました。試合後には少し照れたような笑顔を見せ、仲間からの温かな拍手に包まれていました。

さらに今回は、ホールインワン賞を9名が獲得!「おめでとう!」と喜び合う声が響き、子どもたちの笑顔がひとときわ輝いていました。

今回の大会は、スポーツの楽しさを味わうだけでなく、仲間と励まし合いながら挑戦する意欲を育む場となりました。子どもたちの一生懸命な姿勢や、互いを応援する声が響いた時間となりました。次回の楽習会も、子どもたちの笑顔と成長が楽しみです。



陶芸教室 第2回学習会(12月3日)

参加者12名が、講師の笠政彦氏(東和焼瑞樹窯)の指導のもと、ろくろや板作りによる制作を体験しました。参加者は赤土・白土から好みの土を選び、マグカップや花瓶、平皿、ランチプレートなど、思い思いの作品づくりに挑戦しました。

制作の過程では、思うように形が整わず苦労する場面もありましたが、先生の手が加わると形がすっと整い、参加者からは「すごい!」と声が上がりました。作品を見せ合いながら「先生に助けてもらったら一気に完成したね(*^*)」と語り合う姿もあり、会場全体が和やかな雰囲気になっていました。

今回の陶芸教室でも、土の感触を楽しみながらものづくりの喜びを味わう様子が印象的でした。

参加者からは「出来上がりが楽しみ!」「早く使いたい!!」といった声も寄せられました。

本事業を通じて、普段触れる機会の少ない陶芸に親しみ、創作活動を通じて交流を深めることができました。



イルミネーション点灯式(12月5日)

今年もイルミネーション点灯を無事に終えることができました。当日は澄んだ冬空の下、やわらかな光がゆっくりと会場を照らし出し、集まった皆さんの表情もふんわりと明るくしてくれました。寒さの中にも、どこかほっとするような温かい時間が流れていました。

点灯に向けた準備では、総務部会終了後に区長の皆さまに飾り付けのご協力をいただきました。ひとつひとつの装飾を丁寧に付けていただいたおかげで、会場全体がより華やかで、訪れる方を迎えるにふさわしい雰囲気になりました。また、電気設備については佐々木電業さんに安全面を含めて細やかにご対応いただき、安心して点灯の瞬間を迎えることができました。

点灯式には、子ども達も元気に参加してくれました。みんなで声を合わせて「5・4・3・2・1」とカウントダウンをすると、会場に期待の空気がぐっと高まり、光がぱっと灯った瞬間には思わず歓声が上がりました。子ども達の目が輝き、大人たちも自然と笑顔になる、そんな心温まるひとときとなりました。

地域の皆さまのお力添えがあってこそ、今年もこうしてイルミネーションを灯すことができました。準備から当日までご協力いただいた皆さま、そして足を運んでくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。



男の料理教室第4回学習会(12月17日)

今回の男の料理教室では、講師に岩淵栄市氏をお迎えし、相撲部屋の伝統料理「塩ちゃんこ鍋」をテーマに学びました。

今回は、宮城の味として親しまれている「登米のだし」を使い、地域ならではの深い旨みを引き出すことに挑戦しました。

岩淵氏からは、登米のだしの特徴である「すっきりとした旨み」と「素材を引き立てる香り」を生かすコツが紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

実習では、鶏肉と野菜の旨みがだしに溶け込み、鍋のふたを開けた瞬間に思わず笑顔がこぼれるほどの香りが広がりました。

「登米のだしを使うと、こんなに味がまとまるんだね」「家でもこのだしで作ってみたい!!」といった声があがり、鍋を囲んでの試食タイムは終始なごやかな雰囲気でした。

料理を通して自然と会話が生まれるのが、この教室の魅力です。次回はどんな料理に挑戦するのか、どうぞ楽しみに。



室内グラウンドゴルフ大会第1回月例大会(12月18日)

令和7年度 室内グラウンドゴルフ大会 予選会(第1回)が開催されました。今回の予選会には16名の参加者が集まり、ホールインワンを狙う一打一打に一喜一憂する、笑顔あふれる熱戦が繰り広げられました。

大会は、令和6年度 決勝大会優勝者の島貴 甲さんによる選手宣誓からスタート。参加者一同、熱い気持ちを胸に競技に臨みました。惜しくも「ホールインワン目前!」の場面も多く、会場は歓声と笑い声に包まれました。

気になる予選会の結果は以下の通りです。

- ・ **優勝**: 大内 たづ子さん
- ・ **準優勝**: 榊原 タケ子さん
- ・ **第3位**: 佐藤 恵美子さん

各大会の上位10名は、令和8年3月5日に行われる**決勝大会(枠30名)**への出場権を獲得します。ぜひ、次回の予選会もご参加ください。



クリスマス会(12月20日)

今年のクリスマス会には、定員いっぱいの30名の小学生が参加し、朝から公民館はまるで“ちいさなテーマパーク”のようににぎわいになりました。受付前から元気な声が響き、子どもたちのワクワクした表情に、職員も自然と笑顔になりました。

最初の陶器 LED ライトの色塗りでは、子どもたちは真剣そのもの。絵の具派とマジック派に分かれ、色選びに悩んだり、友だちと相談したりしながら、まるで職人のような集中力で作品づくりに取り組んでいました。完成したライトを掲げて「見て見て!」と見せ合う姿も(*^-^*)

ビンゴ大会では、読み上げられるキーワードにドキドキしながら耳を傾け、ビンゴが出た瞬間には大人も思わず笑ってしまうほどの見事なガッツポーズが見られました。じゃんけん大会では、勝っても負けても大盛り上がりで、学年を超えて自然に声を掛け合う姿が見られ、交流の輪が広がっていきました。

そしてクライマックスはサンタさんの登場。子どもたちの「サンタデー!!」という元気な声が響き渡り、会場の空気が一気に最高潮に。プレゼントを受け取った子どもたちは満面の笑みで、最後の記念写真もとても賑やかで楽しさが伝わる一枚になりました。

今年も笑い声とワクワクがあふれる、思い出いっぱいのクリスマス会となりました。

